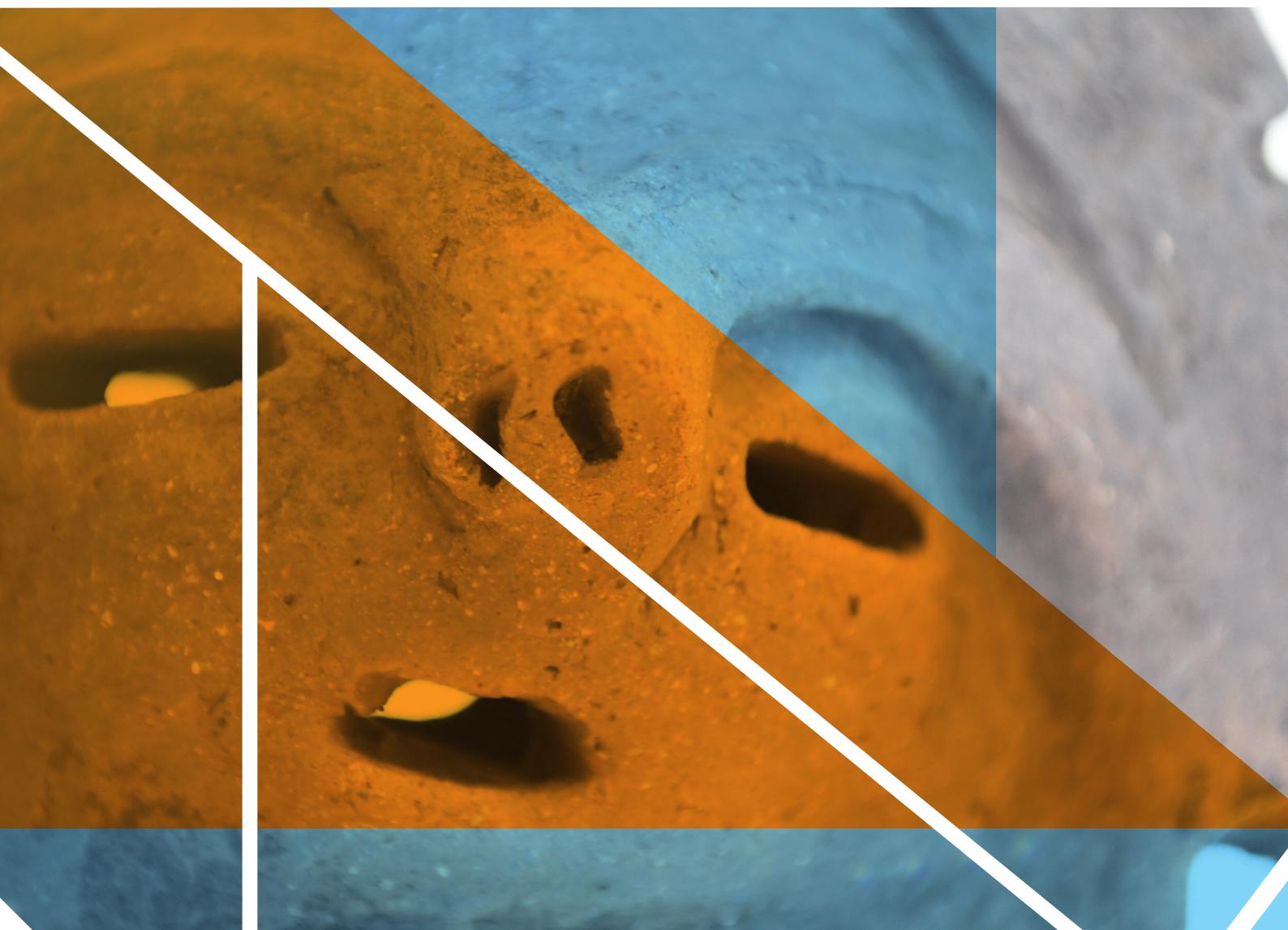


講演会 縄文の顔を読み解く



縄文土器の表にも裏にも顔?
土器の顔 縄文の顔 当時の芸術を読み解く

日時:2026年3月14日(土) 13時~17時

会場:サニープレイス座間多目的室

(座間市緑ヶ丘一丁目2番1号)

予約不要 当日先着150名

参加費無料(資料代別途必要)

主催:神奈川県考古学会、座間市教育委員会

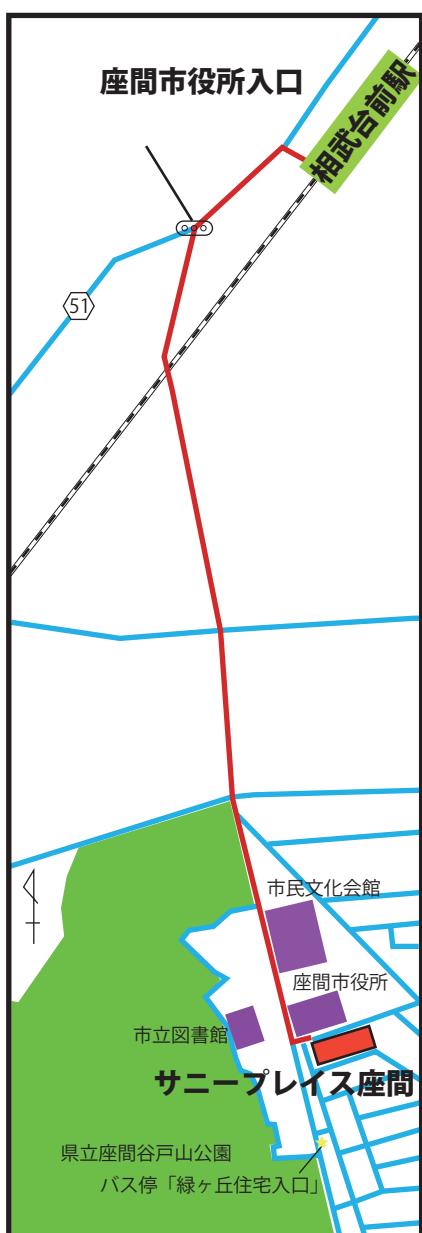
お問合せ先:神奈川県考古学会メールアドレス soumu@koukokanagawa.com

座間市教育委員会生涯学習課 TEL:046-252-8431※当日電話はつながりません

タイムテーブル

12:30	開場
13:00	開演・開催あいさつ
13:05	趣旨説明
13:10～13:40	報告 佐柄 雄斗 (座間市教育委員会) 「座間市蟹ヶ沢遺跡出土の表裏型顔面把手について ～発見から調査・活用まで～」
13:40～14:40	講演① 設楽 博己氏 (東京大学、大学院人文社会系研究科(文学部)名誉教授) 「縄文時代の顔の表現に見る精神文化」
14:40～14:50	休憩
14:50～15:50	講演② 中村 耕作氏 (国立歴史民俗博物館研究部考古研究系准教授) 「縄文時代の顔表現遺物の使用を考える」
15:50～16:50	講演③ 川畑 秀明氏 (慶應義塾大学文学部人文社会学科人間関係系教授) 「顔の造形表現は何を意味してきたのか —心理学的に考古資料と古代芸術を読み解く」
16:50	閉会あいさつ

※各講演テーマは仮のため、当日若干の変更の可能性があります。



アクセス：小田急小田原線「相武台前」駅より徒歩約20分
最寄りバス停「緑ヶ丘住宅入口」より徒歩約2分